

【大和市】

1人1台端末の利活用に係る計画（令和7年3月時点）

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領に則り、学習の基礎となる資質・能力に位置付けられた「情報活用能力」の育成を図ります。また、ICTの特徴を生かした効果的な指導を行うことにより、分かりやすい授業の実現とともに、これまでの一斉指導による学び（一斉学習）に加えて、一人ひとりの能力や特性に応じた学び（個別学習）、教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）など、新たな学びを推進します。教育活動全般において「情報モラル」を身に付けさせることが重要で、情報モラル支援事業を活用して、各校の実態に応じた「情報モラル」に関する指導実践に取り組みます。ICTを積極的・効果的に活用することにより、校務の効率化と負担軽減を図り、教材研究や子どもと向き合う時間をより多く確保することで教育の質の向上を目指します。

2. GIGA第1期の総括

文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度に児童生徒の1人1台端末及び全校の無線ネットワークを整備しました。令和3年度から本格運用を開始し、以下の成果や課題が見えてきました。

○成果

授業支援ツール、デジタルドリル、その他各種デジタル教材などの活用により、これまでの教育実践とICTとの融合による新たな学びへの質的転換が進んでいます。

特に、習得・活用・探求という学習過程における、情報の収集や整理、思考の可視化、学習過程の記録、双方向の情報共有等で成果が上がっています。

匿名報告相談アプリによる悩みや不安への対応、不登校児童生徒への配信授業などでも活用が進んでいます。

○課題と解決策

GIGA第1期での主な課題と解決策については以下となります。

- ・情報セキュリティや情報モラルに関する管理及び指導

（解決策）教育委員会からの周知・指導、研修会の開催の充実等の検討が必要です。

- ・端末故障の増加

（解決策）端末の適切な扱い方の再周知が必要です。

- ・必要なICT環境の維持管理。

（解決策）適正な現状把握と予算確保が必要です。

3. 1人1台端末の利活用方策

今後の利活用について、以下の項目を中心に検討します。

- ・次期端末の更新（令和8年度）
- ・教育情報セキュリティポリシーの整備・更新
- ・加速する情報化への迅速かつ適切な対応（生成A I、教育データ利活用）
- ・教育D X推進
- ・教員のI C T活用指導力の向上